

令和5年

雲南市議会 6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和5年6月15日～6月19日】

令和5年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/15(木) 9時30分～	7／宇都宮 晃	一問一答	1～3	11	6/19(月) 9時30分～	3／児玉 幸久	一問一答	23～24
2		10／中林 孝	一問一答	3～4	12		2／安田 栄太	一問一答	24～25
3	6/15(木) 13時00分～	5／鶴原 能也	一問一答	4～7	13	6/19(月) 13時00分～	15／周藤 正志	一問一答	25～26
4		6／梶谷 佳平	一問一答	7～9	14		12／中村 辰眞	一問一答	26～29
5		14／佐藤 隆司	一問一答	9～11					
6	6/16(金) 9時30分～	8／上代 和美	一問一答	11～14					
7		4／上代 純子	一問一答	14～16					
8	6/16(金) 13時00分～	13／原 祐二	一問一答	16～17					
9		1／多賀 法華	一問一答	17～21					
10		16／細田 実	一問一答	21～23					

令和5年雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

令和5年6月1日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	7	宇都宮 晃 (一問一答)	1. アルコール依 存症について	<p>新型コロナウイルスの発生は、仕事を失ったり、リモートなどにより、家庭内にいる時間が増え、ゲームに、そして飲酒にと走り過ぎる人たちが多くなり、家庭内が荒れる原因にもなっています。朝から飲酒を続けている人たちは、アルコール依存症やその予備群になる可能性が大きくなるものと思われます。したがって、鬱になったり、閉じこもったり、暴れたり、また自死や自傷など、家庭内や社会でもトラブルが多く発生し、重大な事件にまで発展してしまうケースも増えてくると考えられます。</p> <p>政府が発表した自殺対策白書によりますと、新型コロナウイルス発生以後、自死者は増加に転じ、以後、増加傾向にあります。</p> <p>今後、自死者や自傷者、そして心に傷を持つ人たちが増えてくるものと思われることから、今この問題についてしっかりと解決を図っていかなくては、家庭は、世の中は大変なことになるように思われます。こうしたことから、アルコール依存症について考えてみることにしました。</p> <p>アルコール依存症が病気だと分かったのが40年前であります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコールは依存性のある薬物で、飲み方を誤るとアルコール依存症になる。依存症と診断されたら二度と節度ある飲酒ができない。また、回復はあっても完治のない病気である事。 ・アルコール依存症は本人の意思や性格が原因でない事。 ・未成年者の飲酒は、特に脳や身体に与えるダメージが大きい事。 <p>などのほかに、女性は男性よりも短期間でアルコール依存症になり</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>やすく、そして妊娠中の女性は胎児の発達障害や奇形などの悪影響をも与えるおそれがあります。以上のことを念頭に置き、いくつかの質問をいたします。</p> <p>(1)雲南市でのアルコール依存症に対する取り組みはどのようになっているか伺います。</p> <p>(2)雲南市あるいは島根県でのアルコール依存症についての調査結果はあるのでしょうか伺います。</p> <p>(3)適量の3倍以上を日常的に飲む多量飲酒者の中で、治療を要する依存症の方の中で受診をしている人は20人に1人程度の4万人強でしかありません。酒害対策をしっかりとやっていく必要があると考えます。そこで質問です。講習についてであります。講習は現状を把握させること、アルコール中毒の意識をなくし、アルコール依存症という病気だとしっかりと認識させること、各部署の担当の方々にとどまらず皆一人ひとりが窓口、ドアとなって、正しく解決する方向へと導けるよう知識を得させること、アニメなどを活用して幼児期から導く方法などをしっかりと教えていくこと、縦と横の組織の連携をしっかりと図ること、最後に自らが依存症とならないよう知識を得ることなどを、行政の方々そして市民の多くの方々が講習を受け、現実的な知識を得るようにしてはと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(4)酒害に対して、どこでもドアならぬ、みんながドアとなって、ここへ行けば何とかしてくれる専門医や断酒会へといち早くつなぎ導いていける状態となること、そして県下一全国一のアルコール依存症撲滅市を目指して頑張っていたいただきたいと思いますが、いかがで</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. おんせんキャンパスについて	<p>しょうか。</p> <p>おんせんキャンパス運営事業の政策立案の背景として、「教育機会確保法に基づき個別最適で多様なニーズに応えることのできる教育環境づくりを行う」とあります。</p> <p>全国的に、不登校児童生徒は増加傾向にあり、2021年度は24万人と過去最高となり、雲南市においても同様の傾向にあるようです。こうした中で、おんせんキャンパスの現状と将来に向けてのビジョンを伺います。</p> <p>(1)運営方式について伺います。</p> <p>(2)利用されている児童、生徒の人数はそれぞれ何名でしょうか。</p> <p>(3)中学校卒業後の高校生年代のサポートとその結果は如何でしょうか。</p> <p>(4)家庭訪問、保護者支援、学校連携の現状を伺います。</p> <p>(5)不登校の児童、中学生徒および不登校の高校生についての将来ビジョンを伺います。</p>	
2	10	中林 孝 (一問一答)	1. 浄化槽問題の 総括 2. 防災対策について	<p>(1)令和5年3月定例会における浄化槽の不適切な取り扱いについての答弁は、①原因は単なる事務ミス、②使用料は返還しない、であった。その後の状況を踏まえ、答弁内容の訂正や修正、追加事項について確認する。</p> <p>(1)防火水槽の管理者は誰か。管理は行き届いているか、課題と対策を伺う。</p> <p>(2)調整池の管理者は誰か。管理は行き届いているか、課題と対策を伺う。</p> <p>(3)堤(農業用水ため池)の管理者は誰か。管理は行き届いているか、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 人口増加対策 について</p> <p>4. 木次線対策に ついて</p>	<p>課題と対策を伺う。</p> <p>(4) 防災ハザードマップの浸水深や土砂災害警戒区域はどれぐらいの雨量を想定したものか。100年に一度とか1000年に一度といわれる記録的な雨量にも対応したものか、課題はないか。市民への周知は万全か。</p> <p>(5) 私有地に放置された不法投棄物が大雨により流出する懸念のある場所はないか。そのような場所は把握できているか、対策はあるか。</p> <p>(6) 斐伊川、赤川、及びその支流の河川内に多数の樹木が繁茂している。また、土砂が堆積している流域もある。農業等市民生活に影響はないか、対策を伺う。</p> <p>(1) 人口増加対策の要となる産業振興策は進んでいるか。</p> <p>(2) UI ターン対策は進んでいるか。</p> <p>(3) 子育て支援は進んでいるか。</p> <p>(4) 観光振興策は進んでいるか。産業振興や人口増加対策になっているか。</p> <p>(5) 以上を踏まえ、今年の折り返し点を迎えるにあたって市政の実績、評価、今後の課題を伺う。</p> <p>(1) 木次線の存続に向けた市長の覚悟を確認する。</p> <p>(2) 国が関与する協議会対策は進んでいるか。経過と今後の進め方を伺う。</p>	
3	5	鶴原 能也 (一問一答)	1. 新庄住宅団地の分譲開始について	(1) 新庄住宅団地は、松江圏域への通勤環境や、子育て環境(大東小学校、子ども園、保育園)が整っていることから、分譲開始の問い合わせが大変に多い。3月定例会における14番議員の一般質問に対	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 農畜産業の諸 課題について	<p>し、「5月頃に分譲開始」との答弁であったが、未だに分譲が開始されていない。分譲が遅れた理由と、いつ分譲を開始する予定か伺う。</p> <p>(2)今後の本市の住宅団地造成計画について伺う。</p> <p>(1)昨年7月JAしまねが、直営の肥育センター事業から撤退する方針を発表してもうすぐ1年になる。現在1市2町、JAしまね及び県で組織する雲南地域畜産振興検討会及び担当者会において、雲南畜産振興計画の修正作業が進められている。この検討会等での計画修正の目的と進捗状況について伺う。また、この検討結果を今後の雲南地域の畜産事業に、そして肥育センター事業にどのように反映させる考えか伺う。</p> <p>(2)7月に開催予定の雲南農業振興協議会総会において、今後の肥育センター事業についての方針等が示されるのか伺う。</p> <p>(3)鹿児島全共の好成績が市場価格にほとんど反映されず、生産者にとって厳しい状況が続いている。要因と対策について本市の見解を伺う。また奥出雲和牛の認知度向上や販路拡大に向けた具体的な本市の取り組みについて伺う。</p> <p>(4)「肥料価格高騰対策事業」について、次のとおり伺う。</p> <p>①生産資材(肥料・飼料・農薬・燃油)価格高騰の現状を伺う。</p> <p>②「肥料価格高騰対策事業」の支援対象期間以降の対応はどのような考えか。</p> <p>③地域資源を活用した有機肥料等、国産化に向けた取り組みはどのような考えか。</p> <p>④肥料以外の生産資材の価格高騰に対する支援の現状を伺う。</p> <p>(5)「みどりの食料システム戦略」の農業分野における取り組み方針</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 社会体育施設 (大東体育文化センター、木次体育館、掛合体育館) の耐震診断業務の結果について	<p>等について、次のとおり伺う。</p> <p>①本市における、農業分野の脱炭素化に向けた取り組み状況を伺う。</p> <p>②本市における、スマート農業の取り組みと効果について伺う。</p> <p>③有機農業の定義と本市における、有機農業の取り組み状況(農家数、面積)と支援策について、また、地産地消の普及拡大に向けた取り組みと支援策について伺う。</p> <p>④本市における、「みどりの食料システム戦略」への取り組み方針について伺う。</p> <p>(6)集落営農を存続させるのは労働力不足の解消が不可欠である。そのためには、農業がビジネスモデルとして成り立ち、「農作業で一般企業並みの収入を得られるようにしなければならない」と考えるが見解を伺う。また、集落営農組織の存続に向けた具体的な対策と本市の取り組みについて伺う。</p> <p>(7)現状のままでは、集落営農組織の継続には限界がある。農事組合法人の他の組織化(例えば株式会社)について検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)3つの施設の耐震診断結果の詳細について伺う。</p> <p>(2)大東体育文化センターは、「耐震診断が不可能である」こと、掛合体育館は、「吊り天井が落下する恐れがある」という診断結果から大変危険な施設であること、また放置されていた実態が判明した。この診断結果について見解を伺う。</p> <p>(3)地元への説明は、いつどのように実施されたのか。</p> <p>(4)大東体育文化施設は、毎週大東高校女子バレー部他約10団体が使用、掛合体育館は、三刀屋高校掛合分校が使用していたが、これ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				らの団体に対する代替え施設の提案などされたのか。また、今後体育館の使用が多くなることが予想されるが、現在の代替え施設の使用で希望に対応できるか見解を伺う。 (5)今後、この3つの施設をどのようにする考えか。	
4	6	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 観光振興及び 市内公園について 2. 子育て支援に ついて	<p>新型コロナが第5類へ移行された事に伴い、国内旅行はコロナ禍前の2019年と同水準まで回復するのではないかと予想されている。そこで、市内のキャンプ場・公園等の整備状況等について伺う。</p> <p>①観光客受け入れにおける公衆トイレ(暖房便座・ウォシュレット等)の体制について伺う。</p> <p>②キャンプ場・公園内等の倒木落枝管理について伺う。</p> <p>③キャンプ場等の各種使用料は何年ごとに見直しをしているのか。</p> <p>④公園と球技場の境に有るフェンスについて伺う。</p> <p>雲南市は、以前から人口減少対策として、他市町村に比べ子育て世帯に対して手厚い支援を行ってきた。ところが国は、今、「異次元とか次元の異なる少子化対策」として若者や子育て世帯向けに各種支援を計画している。</p> <p>これは雲南市が今まで独自に行ってきた施策と重なる可能性があり、雲南市が目立たなくなる可能性が有る。そこで、雲南市は新たな人口減少対策を打ち出し、若者や子育て世帯向けに雲南市をアピールし、そして雲南市に住むことを選択して頂くための計画を策定する必要があると思う。国が”異次元の少子化対策”であるならば雲南市は、”超異次元の少子化・子育て対策”を打ち出してはどうか。国の計画では、児童手当等については令和5年6月の「骨太の方針2023」で具体的内容が検討される予定である。それ以外の「こども・</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>子育て支援加速化プラン」は令和6年度から3年間かけ集中的に取り組むと発表した。</p> <p>(1)今後、若者や子育て世帯に対して雲南市を新居住地として選択してもらうための”超異次元の少子化・子育て対策”についての準備は進行しているのか伺う。</p> <p>(2)現在の保育園・幼稚園入園審査について</p> <p>3月定例会において、入園審査の質問に対して市の回答は、入園審査でサラリーマンと農業や自営業者等で差別はない。保護者が申請する就業時間だけで審査しているとの回答であった。しかし、「認可保育所・認定こども園入所申込の手引き」にある保護者の基本指数や世帯の調整指数では差が設けられている。居宅外・居宅内就労であろうと、月の勤務日数や一日の勤務時間に関わらず仕事をしている保護者は子供を預かってほしい。雲南市は、県内でも共働きが多いと統計でも出ている。共働き家庭を積極的に支援することが「子育て世帯を応援する」事になると思う。希望する幼稚園・保育所等に入所出来なかった方はいないと聞いているが、以下について伺う。</p> <p>①「認可保育所・認定こども園入所申込の手引き」にある保護者の基本指数や世帯の調整指数は、何のために設けているのか。</p> <p>②手引書の開所・閉所時間は、遠方に勤務する保護者にとって子供の送迎に問題はないのか。</p> <p>③雲南市内の家庭は統計からも共働きが多い。子育て世帯を応援するためにも保育を希望する児童は、毎年全てを受け入れることはできないのか。</p> <p>④市全体で現在、何名預かっているのか。そして最大何名預かるこ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				とが可能か。 ⑤雲南市立病院の院内保育で深夜明け後、仮眠時間は預かれるのか。 (3)時間延長に伴う保育料や税金等の支払い方法の多様化について伺う。	
5	14	佐藤 隆司 (一問一答)	1. 子育て世代への満足度をさらに伸ばすために 2. 脱炭素に向けた市民参加の推進は身近なところから 3. 「食の幸」の発	(1)「第2期雲南市子ども・子育て支援事業計画」の取り組み方針3. 子どもの安全の確保と生活環境の整備について、「安心して遊べる公園の整備・充実など子どもにとって安全で快適な生活環境の確保に努める」と計画されている。 ①子育て世代の市内の公園や遊具施設のニーズをどう把握し認識しているのか。 ②危険な遊具の点検とその対応はされているか。 ③遊具施設を整備し、子育て世代への満足度(期待値)を高めるための取り組みの考えは。 ④健康維持増進のためにも「ちょいトレ」遊具なども含め、多世代向けの整備も必要と考えるが。 (1)「脱炭素宣言」の脱炭素社会構築に向けた地域での取り組み事例の一つに、省エネルギーの取り組みを推進するとある。特に、電気料金の高騰は日々の生活に影響しており、市民や事業所にとって最も関心が高い問題となっている。まずは、身近な問題から「脱炭素」に向けた取り組みを推進することが必要である。 ①新エネルギー機器導入補助金について、拡充する考えは。 ②省エネ家電等の買換を促進する補助制度(LED化、冷蔵庫等)の考えは。 (1)「食の幸発信推進事業」は平成26年度に基本計画策定業務委託	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>信は野菜づくりの取り組みの推進から</p> <p>4. 協働のまちづくりの拠点整備について</p>	<p>をされてから6年間の議論を経て結局は取り止めとなった。その時間と経費の損失は猛省しなければならないが、野菜出荷実績会員数や出荷会員年代構成のデータでも読み取れ、将来の負担を考えれば妥当な決断であったと思う。</p> <p>①食料安全保障が叫ばれる中、コロナ禍による「新しい生活様式」や「田園回帰」の流れを追い風に、田舎という空間があるからこそできる家庭菜園やその延長の野菜づくり「プチ収入」でちょっと稼ぐことができると同時に、安心安全な野菜を自ら栽培することを推進すべきと考えるが見解は。</p> <p>②あらためて農業や食の大切さが再認識されたことに加えて、農業での健康増進や生きがい創出の効果、レクリエーション的な野菜づくり、自家用野菜づくりは農家に限らず非農家への期待が高まると推測する。市とJAの連携でシェア農園(チャレンジ農園・レンタル農園・市民農園)を整備し、営農指導者による具体的な実践(菜園講座・教室)で安心安全な野菜の生産者を増やす“きっかけづくり”、まさに「食の幸」発信推進の展開をすべきと考えるが見解は。</p> <p>(1)雲南市交流センター条例では、「雲南市まちづくり基本条例の理念に基づく市民と行政による協働のまちづくりの実現を図るため、センターを設置する」とあり、「センターは地域自主組織の活動拠点とし、住民相互の交流促進の場として、地域づくり活動、生涯学習活動及び地域福祉活動を中心に、住民の福祉の増進を図る施設とする」とある。</p> <p>①協働のまちづくり活動の拠点の認識と地域からの要望の状況は。</p> <p>②交流センターの施設整備(建替えや改修)の方針と計画は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>③計画どおりに整備が進められているのか。</p> <p>④今後に向けての方針・計画の見直しの考えは。</p> <p>⑤選択と集中で次年度以降の実施計画を大きく見直すことが必要と考えるが見解は。</p>	
6	8	上代 和美 (一問一答)	1. 健康保険証の マイナンバーカー ドへの一体化につ いて	<p>(1) 今国会で岸田政権が現行の健康保険証を 2024 年に廃止してマイ ナンバーカードに一体化する法案の成立を狙っている。報道では、 「マイナンバーカード保険証」で、別人の情報がひもづけられてい た事例が 7300 件あったとも報告されている。国民の信頼を裏切るよ うな問題が噴出している「マイナンバーカード保険証」についてい くつか伺う。</p> <p>①健康保険証のマイナンバーカードへの一体化とはどういうこと か。</p> <p>②健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一体化するという国 の方針だが、マイナンバーカードでオンライン資格確認を希望しな い場合は、本人が「資格確認書」の申請をしなければならない。申 請漏れが生じ、国民皆保険制度が崩れることを危惧するが、見解を 求める。</p> <p>③マイナンバーカード取得は任意であり、番号法施行令 15 条 4 項で いつでも返納ができることになっている。マイナンバーカードの利 用の有無で病院窓口負担に差をつけ差別することは義務化や強制に つながる。見解を伺う。</p> <p>④医療機関では新たな負担(経済的、人的)が増え、資格確認書を交 付する保険者の事務負担も増加し、今までの健康保険証でなんら支 障のなかった患者さんたちの混乱も考えられる。マイナンバーカー</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 大出日山風力 発電計画について	<p>ドを持っていても、これまでどおり健康保険証が使えるようにすべきだ。見解を伺う。</p> <p>(1)大出日山風力発電事業計画については、事業の中身が明らかになるにつれ住民の不安が大きくなりつつある。市長は、配慮書の市長意見で「地元住民をはじめとする市民理解と合意が大前提」とされている。市民の意見をどう受け止めておられるのか。所見を伺う。</p> <p>(2)県の環境影響評価では、「配慮書」に対する知事意見で「環境影響を回避または十分な低減ができない場合には、事業実施想定区域の再検討を行うなど、当該地域での事業の廃止も含めて事業計画の抜本的な見直しを行うこと」「科学的根拠に基づく最新かつ正確な情報を用いた調査を行い」とされている。そこで2つの点で市の認識を伺う。</p> <p>①雲南市地震防災マップで計画地付近に「宍道湖南方断層」という活断層の存在を示された。昨今の頻発する地震を想起するなら、活断層の存在は地形及び地質を考えるうえで配慮すべきものではないか。</p> <p>②2017年に環境省から出された「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」は1基当たりの出力2000Kwの風車を想定しており、今回の4000kw級の風車を想定した指針となっていない。影響を考える指針としては使えないのではないか。</p> <p>(3)地元の方からは、「大東町は大出日山―三郡山―高の峰―八十山―丸倉山に囲まれ守られてきた。大東にとって大出日山は大事な山であり破壊されることは由々しきことである」と言われている。Iターンで移住された皆さんの声は本当に切実である。「他にはない大</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 「市民の命を守る」最大限の施策を	<p>東のかけがえのない自然に魅了されて移住してきた。この原風景、景観が素晴らしいのに」という不安な思いを聞いた。人口の社会増をめざす上でもかけがえのない自然を守ることが雲南省のメリットになる。今回の計画は雲南省に何かメリットはあるのか。</p> <p>(4) 二酸化炭素の排出量削減は喫緊の課題であるが、環境破壊のメガソーラー、大型風力、原発ではなく、市民の声を十分聴き、省エネと地域分散、地域循環型、地域経済を潤す再エネ施策を強化すべきである。同時に環境を保全する市としてのルール(条例、ガイドライン、ゾーニングなど)をつくるべきである。</p> <p>(1) 電気料金や物価高騰がすさまじい勢いである。政府は5月16日中国電力を含む7電力が申請していた家庭向け「規制料金」の値上げを了承した。大手電力のカルテルや新電力の顧客情報の不正閲覧など、不正のツケを利用者に負わせる電気料金の値上げは許されない。暑い夏にむかい熱中症など命の危険さえ起こりうる状況である。市長施政方針では「物価高騰の影響が特に大きい低所得世帯の皆様に対して、1世帯当たり3万円を支給する『電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金』などの補正予算が追加提案される」とあり、評価するものだが、市が出来得る最大限の施策で市民の命と生活を守るべきである。その上で、いくつかの提案をする。</p> <p>①基金の取り崩しで国民健康保険料の引き下げをすべきである。 ②小中学校給食費の無償化を実現すべきである。 ③水道料金の引き上げはすべきではない。</p> <p>(2) 緊急的な対応として、いくつかの提案をする。 ①暑さをしのぐ避難場所として公共施設を開放する。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②身近な相談窓口、食料支援体制など考えておく必要がある。</p> <p>(3)3月定例会で、「5年間で43兆円もの大軍拡をすすめれば、増税や社会保障の切り捨てで暮らしが壊される」と指摘した。市民のいのちを守る立場として「軍事費よりいのち・暮らし・営業を守る予算に！」の声を国にあげていくべきである。見解を伺う。</p>	
7	4	上代 純子 (一問一答)	<p>1. ふるさと納税の推進について</p> <p>2. 高校の魅力化について</p>	<p>(1)令和5年3月定例会の一般質問において、寄附額の増加や、事務量の増加で体制強化が課題との回答であった。その後の体制はどのようなになったのか。</p> <p>(2)人材派遣型企業版ふるさと納税が他自治体で行われている。島根県においては1名の受け入れがあるが、雲南市においても、この制度を活用して「人口の社会増」へ挑戦いただく人材を確保する考えはないか。</p> <p>(3)出雲市や浜田市においては、空き家を所有し管理状態を不安視する市外在住者に、ふるさと納税によって点検や見回りをする制度を構築されている。管理不全空き家の増加防止と、ふるさと納税との新たな取り組みである。このような制度をどのように感じるのか。雲南市での対応は考えられないか。</p> <p>(1)2025年度から高校の推薦入試が新たな自己推薦方法に変わり、生徒獲得のために高校の魅力化が求められている。このことについて教育委員会は、どのように思われるか。</p> <p>(2)雲南市の高校生は市民バスで通学しているが、飯南高校には専用バスが用意され、雲南市内の生徒が飯南高校へ通学している実態がある。高校の魅力化のひとつとして、雲南市内の各高等学校専用のスクールバスなどを検討することは考えられないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 夜間タクシーの支援について</p> <p>4. 地域の商店への支援について</p>	<p>(3)三刀屋高校の寮が古くなっている。また大東高校には寮がない。寮を充実させて、遠方の生徒の受け入れや、島根県教育委員会が行っている「しまね留学」で、県外の生徒などを迎え入れることを要請することなどは考えられないか。</p> <p>(4)掛合分校には女子生徒の寮があり、修繕を行いながら運営されているが、建て直しなどを要請するような考えはないか。また男子の寮がないが、設置の要請をする考えはないか。加えて、市立病院の医師住宅などが空いているようだが、市有施設を寮として活用いただくようなことは考えられないか。</p> <p>(1)国土交通省は今夏、タクシー関連の規制緩和をされる方針だ。運転手不足や事業者の経営難に対応する規制緩和であり、法人や個人タクシーの営業になんらかの影響があるものと感じるが、雲南市にはどのような影響があるのか。</p> <p>(2)イベントや飲食などの賑わいが復活しつつあるが、夜間タクシーの台数が少なく、苦慮されている事業者や利用者がある。今回の規制緩和にあわせて、夜間タクシーの台数確保や、新規参入事業者への支援、運転手確保への支援などの対策はできないか。</p> <p>(1)地域の商店が閉店する実態がある。今後ますます高齢化が進み、独居の増加や運転免許証の返納などによって、買い物弱者が増えるのではないかと思うが、こうした地域の商店の在り方について、どのように受け止めているのか。</p> <p>(2)地域の商店の中には、移動販売によって買い物弱者への対応をされている事業者もある。現在、移動販売には車両購入補助金等の支援制度もあるが、移動販売に対する市としての考え方はどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 自転車利用者のヘルメット着用について	<p>(1)令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されたが、雲南市では利用者の着用推進に向けて、現在どのような周知をされているのか。</p> <p>(2)雲南市の児童生徒のヘルメット購入への助成金はあるが、それ以外の方の購入補助金はあるのか。</p> <p>(3)ヘルメット着用をためらう方もいらっしゃる中、全ての年齢層に対してヘルメット着用の有効性の理解促進を図るための取り組みを今後どのようにされていくのか。</p>	
8	13	原 祐二 (一問一答)	<p>1. 政治参画について</p> <p>2. 公共施設の点検と対策について</p> <p>3. 市内高校のあ</p>	<p>(1)統一地方選挙での市民への開票速報・結果の周知について、反省点・改善点等を問う。</p> <p>(2)令和6年度に実施する、市長・市議会議員選挙の投票率の向上には、市政情報の発信が重要と考える。特に、市報が配布されない世帯及び行政放送(有線放送)の未設置世帯への取り組み(世帯数と割合・対策)について問う。</p> <p>(3)市長・市議会議員の同日選挙について、実施(制度)の可否と行財政運営におけるメリットとデメリット等を問う。</p> <p>(4)市長・市議会議員の選挙スケジュールの決定方法・時期、市民への周知方法を問う。</p> <p>(1)本市の公共施設(道路・公園・福祉施設・教育施設・観光施設等)について、点検実施の有無と点検方法を問う。</p> <p>(2)点検結果による、施設修繕の緊急度・ランク別結果の公表方法を問う。</p> <p>(3)危険な施設の管理方法・対策予算の確保について問う。</p> <p>(1)市内高校の定数と現状、少子化に伴う今後の市内高校の課題につ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			り方について 4. 農地の維持・ 対策について 5. 市内金融機関 の縮小について	いて所見を問う。 (2)岡山県真庭市では、2校4校地から2校2校地へ段階的に高校を再編し、少子化に対応した学科編成を実施している。他県での先進事例を参考とした、県教育委員会との協議・対策、高校のあり方を問う。 (1)改正前の農地法第3条第2項第5号に規定する、面積要件の廃止による農地の維持について、その必要性和遊休農地抑制への所見を問う。 (2)面積要件の廃止による、担い手対策、空き農地バンク・UIターナーの移住対策等、小さい農業への取り組みと対策を問う。 (1)合併後の市内金融機関の店舗数の推移・営業時間の形態変化、金融機関の縮小による行政運営・市民生活(市民活動)への影響を問う。 (2)市内のJAしまね2店舗の縮小について、本市の対応状況と行政運営・市民生活(市民活動)への対策、JAしまねへの要望等を問う。	
9	1	多賀 法華 (一問一答)	1. 育休について	3月定例会で、育休をとると、きょうだいの保育所の入所時間が短時間保育になったり、児童クラブの優先順位が低くなって使えなかったりと困っている保護者の方の声を聞いたという一般質問をした。「育休をどう考えるかは、現時点では即答しかねる。国で議論されるべきものかと思う。市として、今後どこまでができるか考えていきたい。」との答弁だったと思う。国の職業生活両立課に確認したところ、育児休業は、1歳に満たない子を養育するためにする休業で、きょうだいには関係ないとのことだった。きょうだいに影響が出るのはおかしい。せめて、第3子以降の出産による育児休業期間中は、継続入所児に関しては標準時間保育にて利用可能となるなど、	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 風力発電について	<p>利用できる条件の拡充は考えられないか。</p> <p>大東町の大出日山の風力発電について、4月に安来で開かれた事業所説明会と風力発電について調べておられる武田恵世先生が講師の「みんなで学ぶ風力発電勉強会」へ行ってきた。ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社が、大出日山に、風力発電事業を計画検討されている。この事業所は、全国で、太陽光、風力、バイオマス発電所などの開発、建設、運営を手がける再生可能エネルギーの発電事業会社である。大出日山に、4,200kW級の風力発電機を最大13基設置予定。年間発電量は、約3万世帯の年間電力消費量に相当するとのこと。商業運転期間は20年間を予定されている。</p> <p>(1)事業所説明会が、告知放送で市からお知らせがあったり、市のホームページに載っていたりしているので、市の事業あるいは市が関係している事業と思っておられる方が多いと聞くが、実際はどうか。</p> <p>(2)風力発電は、風向きや風速によっては発電量が下がるおそれがあり、電力を毎日一定量供給するという「安定性」の面では弱い部分がある。勉強会の講師の話では、北海道電力の方と話したときには、「風力の増減に合わせて火力を調整すると逆に燃料が多くいる」という答えだったので、実際に風力による発電は、CO₂の削減に役立っているかは疑問が残るとのことだった。脱炭素社会を目指す雲南市としては風力発電のCO₂削減の効果に対してどのような考えか。</p> <p>(3)風力発電機による健康被害の特徴として、世界中で同じような症状の訴えがある。中型小型にあたる750kW基の風車でもある様子。主な症状は睡眠障害、睡眠遮断、頭痛、耳鳴り、耳閉感、動揺性めまい、回転性めまい、吐き気、かすみ目、頻拍、イライラ、集中力・</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>記憶力の異常、ストレス、吐き気、様々な胃障害、耳鳴り、高血圧症、心臓血管の病気、覚醒時もしくは睡眠時に生じる身体内部の振動感覚、動揺感覚に伴うパニック発作などで、不眠と船酔いに似た症状がみられる。世界中の被害者に一致した話として、事前に被害が出れば補償する、きちんと対処すると言われていても事業者も行政も因果関係を認めようとはしないとのこと。被害が出た場合は、結局体調不良を我慢して暮らし続けるか、引っ越すか。大出日山の風力発電の場合、計画だと、一番近い民家は塩田地区で800m。国の基準では600m以上離れている事が定められているようなので、基準では大丈夫かもしれないが、現実に1.2Kmの距離でも健康被害が出る人は出る。こうした風力発電で起こるかもしれない健康被害について、市では調査し、住民に情報提供をするつもりはないのか。また、実際に健康被害が出た場合、市として調査はするのか。</p> <p>(4)鳥の減少もみられるとのこと。雲南市は、コウノトリの住むまち、選ばれたまちとして、生物多様性も重視したまちづくりをしている。条例もできたばかり。周辺住民も懸念されている。風力発電の鳥への影響の可能性も調査していく必要があると思うが、いかがか。</p> <p>(5)山の上に建てるということで、水にも影響が出てくると思われる。今まで豊かな山林だった所へ、道路や施設ができ、除草剤などが散布された場合、刈畑川や赤川、阿用川、久野川に流れていく可能性もある。田んぼや蛍には影響はないか。</p> <p>(6)獣害について、事業所説明会で、風力発電の事業をしたから獣害が増えたという検証は難しいと話されていた。もし獣害被害が増えたとしても事業所は保証してくれない。市はどのようなお考えか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(7) 土砂崩れについて、風車の羽は巨大なので、かなり大きな道路を取り付けることになると思われる。風力発電は 20 年で事業終了。その後地主に土地は帰ってくることもあるが、地主が管理しきれぬかという課題がある。自然林の自然災害は公費などが使えることもある。林業地とか林道の土砂崩れの場合には、多くの補助費制度とか助成制度があり、自己負担 10% ぐらいですむ制度もある。風力発電所を建てるのに、人工的に造成工事を行った場合は全額自己負担の可能性もある。また今回のジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社は、宮城県加美町で住民監査請求が起こっている。「JRE 宮城加美が経営破綻した際、未払いの賃料を町が債権放棄する地上権設定契約の条項が改められず、解体・撤去の積み立て費用の具体額を明記していないなどと指摘。」という記事が、5 月 2 日付河北新報に載っていた。住民監査請求は却下はされたが、こういった契約時の不安もある。事業が中止されたり中断したり終了したときの補償がないことが多いとも聞く。メリットとして、固定資産税収入、林道ができるなど説明があり、いっけん良さそうに思われるが、実際はそんなにメリットがないことが多いようである。環境影響評価をクリアしたのであれば、もし建てたあとで、何かあれば、国や県や市が保証したり、責任をとったり、事業者との間にたったりして、市民に不利にならないよう助けてもらえるのか。</p> <p>(8) 今回、陸上事業用では、日本最大とされる 4200kW。世界的にも陸上では非常に稀。何が起こるかわからない。風車騒音によるリスクを評価するソフトウェア「H-RISK」を北海道大学地域環境研究室助教の田鎖順太さんが作成されている。田鎖順太助教は、「風力発電」</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				は、安全に運用できれば、有力な電源のひとつだが、「風車騒音」を考慮する必要性を訴えられている。少数の専門家だけで計画を進めるのではなく、地域の住民が参加し、十分な情報のもとで議論を行い、合意を得ていくことが肝心とも。地域の未来をどの様に構想するか、その中で風車をどの様に位置づけるのかという重要な問いに、このソフトウェアを活用してもらいたいとのこと。ぜひ市でも活用したり、こうした先生方にオンラインで良いと思うので、講演など勉強会を市議会と一緒にすべきと思うが、いかがか。	
10	16	細田 実 (一問一答)	1. 地域医療充実 と市立病院経営について	(1)今定例会から大谷事業管理者が出席されているので、所感も含めて何点かご質問させていただく。大谷事業管理者におかれては、今年度から再度4年間任期延長となり、引き続き事業管理者として市立病院の経営に当たられるが、市立病院のトップとして今後どのような病院を目指して行くお考えかについて伺います。 ①雲南圏域の中核病院として、どの様な使命や役割を荷って行かれるのか。 ②経営的にはこれまで健全経営に努めておられると思うが、これから新棟の大きな返済等が始まり相当厳しくなると思うが、経営的にはどのような対策や事業展開を考えておられるか。 ③他自治体では職員不足から病棟閉鎖との事も聞く。地域医療充実と健全な病院経営をして行く上では職員の充実が何より必要ではないか。職員と良好な関係を築き、職員がそれぞれに力を発揮できる組織でなければいけないと思うが、組織運営において心掛けておられることや、院長先生を始めとする幹部職員にどのような事を期待し、力を合わせてどのようなことに取り組んでいきたいと考えてお	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 第3次総合計 画策定について	<p>られるか。</p> <p>(2) 医師の体制について、市長の施政方針では市立病院の医師が 37 名体制となったとのことであった。特に中山間地を中心に医師不足は大変厳しい状況が続いていると聞いているが、その状況の中において着実に医師の確保が図られていることは素晴らしいことであり、この間の大谷事業管理者を中心に取り組んでこられた成果であると思っており、敬意を表しておきたい。そこで、医師確保策等についてお聞きする。</p> <p>① これまで具体的にどのようなことに力を入れて取り組んでこられたか。</p> <p>② 総合診療医の育成は全国に誇れる取り組みであるとのことであったが、全国に誇れる取り組みとしてどのようなことをしてこられたのか。</p> <p>③ 今後、医師や看護師などの医療職の確保や育成をして行く上で、どのようなことが重要になっていくと考えておられるのか。</p> <p>(1) 第3次雲南市総合計画の策定に着手されたところである。今後市民参加や庁内会議において雲南市が将来めざす方向について、議論を深めるとの事である。そこでは第2次総合計画の何ができ何ができなかったのか、その原因は何であったのか、総括が重要になると思う。多くの戦略が書かれていたが、市長はどのように総括しているのか。総括のうえに市長の第3次計画骨子の考えを伺う。</p> <p>(2) 周辺地域にとっては人口減少などのなかで地域をどう維持し住み続けるのか、今後 10 年(前期 5 年と言ってもよい)の第3次総合計画の中身に周辺住民は大きな期待を寄せる。具体的な振興策を期待</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				するが市長の考えを伺う。	
11	3	児玉 幸久 (一問一答)	1. 市民バス・タクシー優待乗車券について 2. 指定管理者制度における人件費の積算基準等について	<p>本市では、普通運転免許をお持ちでない方で、外出が困難な高齢者や障がいのある方等の外出を支援するため、「優待乗車券」が交付されている。</p> <p>(1)最近における利用実態について簡潔に説明を求める。 (2)タクシー事業者からは集計の作業が大変であり、やり方を改善できないかと相談を受けている。</p> <p>① 優待乗車券の集計にかかる作業に対する経費は、きちんとみてあるのか。 ② 利用される方はもちろん、事業者の負担を軽減させ、より効率的、付加価値の高いサービスを提供するためにも、ICT化、DX化を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>本市の公の施設の管理においては、その多くの施設で指定管理者制度が導入されている。本市における指定管理者制度については、まだまだ、改善すべき点が多く残っていると考える。</p> <p>(1)指定管理者制度の支出は人件費が占める割合が高いため、人件費高騰が利益率の縮小を招くこととなる。そのため、適正な人件費の積算、契約の見直しが重要である。</p> <p>① 現在の雲南市の指定管理者制度における人件費は、応募者からの見積をベースに積算を行っていくこととなると思うが、職員・スタッフの単価はどのような基準で設定しているのか。また、その単価は、この10年間を見たときに、社会の賃金水準の変動に対応できているのか。 ② 近年、社会一般の雇用労働環境の目安である賃金水準の変動に応</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 水環境保全に むけた市の考え方 について	<p>じて、2年目以降の指定管理料を変更する仕組み(賃金水準スライド)を導入する自治体も出てきているが、雲南市においても導入すべきではないか。</p> <p>水環境の保全は、自然豊かな本市の魅力を未来に継承していくためにも極めて重要な取り組みだと考える。現在、安来市との市境の尾根沿いに風力発電施設の建設の計画が進められているが、民間の所有地に民間事業者が建設を予定し、国の環境アセスメントの手続き中ということもあり、その動向を注視している。個人的な見解としては、水源地域における尾根沿いへの大規模な開発は、すべきではないと考えており、この風力発電施設建設計画も含め、大規模開発と水環境保全についての市の考えを伺う。</p> <p>(1)大出日山における風力発電施設建設計画に対して、水環境保全の面から市としてどのような懸念を持っているか。</p> <p>(2)この計画は、民間が行う大規模開発であり、国の環境アセスメントの手続きに基づき調査・評価がなされ、島根県が許可権者である。地元である雲南市としては意見書という形で、懸念している事項への配慮等を求めることとなるが、もう一步踏み込み、水環境の保全の面からの対応をしっかりととってもらおうよう、市として条例を制定していく必要があるのではないかと。</p>	
12	2	安田 栄太 (一問一答)	1. 危険空き家について	(1)大東町北町自治会内に倒壊しそうな危険空き家がある。周辺道路を通行止めにし、土嚢を積む等の対策をしているが、周辺住民からは防災や防犯等の不安があるとの声を聞く。また、この空き家周辺は通学路となっており、早急に解体すべきと考えるが管理者に対して市はどのように対応しているのか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. スポーツ施設 (体育館)の利用に ついて 3. 鳥獣被害対策 について	(1)現在、大東体育文化センターが使用禁止となっている。ここを拠点として活動していた団体は別の体育館で活動している。また、幡屋体育館は解体する計画があり、ここの利用者も別の活動拠点を探すことになる。 ①老朽化した施設が多く、今後集約していくことになるのか。見解を伺う。 ②施設の予約や決済方法の利便性向上を求める声がある。施設利用をより効果的にするために ICT を活用したシステムの構築をしようか。見解を伺う。 (1)大東町地内にサギが営巣している。付近の住民等から生活被害があり、対応を求める声がある。また、巣の真下が大東高校の通学路となっており対応すべきと考えるが、見解を伺う。 (2)平成 29 年 7 月以降サギの捕獲が中止されている。再開する考えはあるか。	
13	15	周藤 正志 (一問一答)	1. 少子化対策に ついて 2. 教育委員会の 運営方針について 3. 道の駅の活性 化ビジョンについ て	少子化が加速しており、国は異次元の少子化対策を打つとしている。市の少子化対策としてこれまで以上にどこに力を入れるのか。 (1)教育部長と 2 名の統括監が県から派遣された体制となっているが、その意図とどういう教育を目指すということか。 (2)木次中、加茂中の整備スケジュールをどう考えているのか。 (1)ビジョンが示されたが、内容、時期、予算など詰めてなく不十分である。集客増など活性化の成果が出るまでに時間がかかりすぎるのではないか。 (2)木次道の駅は、駐車場整備を先行するとのことだが、“たんびにきて家”と店舗改装も急ぐべきではないか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 木次線と広域観光について</p> <p>5. 災害復旧の進捗について</p> <p>6. 市長のまちづくりの基本的な考えについて</p>	<p>(3) 一番外貨を稼げる「たたらば壺番地」については、店舗、駐車場ともに拡張を考えるべきではないか。</p> <p>(1) 木次線利用促進のさまざまな取り組みを行っているが、木次線の利用者数、輸送密度の目標はあるのか。また、現在の取り組みは利用の8割を占める通勤、通学等日常の利用促進策となっているか。</p> <p>(2) トロッコ列車最終年で多くの来客があっているが、来年以降の奥出雲へのリピーターにつながる取り組みがなされているか。</p> <p>(3) 「菅谷たたら山内」の保存修理が完了したが、どう広域観光に結びつけているのか。</p> <p>4月末現在の農地・農業用施設災害の復旧率は、まだ10%で、今年度中に全体の80%を発注し、60%完了見込みとのことだが、遅すぎるのではないか。</p> <p>(1) コウノトリとの共生のまちづくりは条例もあるが、人間との共生のまちづくりについては、どういう考えか。</p> <p>(2) 第3次総合計画策定に着手されたが、プラチナ社会や小規模多機能自治の次のステップをどう考えているか。</p>	
14	12	中村 辰眞 (一問一答)	1. 情報弱者に対する対応について	<p>聴覚・視覚に障がいのある方々に対するサポートには様々ある。行政としてできることを一つひとつ積み上げていくことが「誰も取り残さない」となっていくことであると考え。</p> <p>(1) ろうあ者に対する取り組みについて</p> <p>ろうあ者の方々が情報弱者であることは、前回定例会のJアラートに関する質問内で確認できたと考え。</p> <p>①3月26日に全日本ろうあ連盟が創立70周年を記念して製作された映画「咲む」の上映会が本市でも開催された。市長も鑑賞された</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 出雲養護学校 雲南分教室と隣接 する基町住宅跡地 活用について	<p>が率直な感想を伺う。</p> <p>②小中学校にのにおいての手話教育の現状を伺う。</p> <p>③この映画は手話言語を基本として制作されている。手話を言語と位置付ける言語条例等は県内では、2017年に出雲市の「出雲市手話の普及の推進に関する条例」。2020年に益田市の「益田市手話言語条例」が施行されている。本市でも手話を言語と位置付けることで手話の普及促進につながると考えるが市長の考えを伺う。</p> <p>(2)視覚障がい者に対する取り組みについて</p> <p>①本市が発行する刊行物や郵便物などに音声認識コードが印刷されているものはあるか。</p> <p>②音声認識コードを導入する自治体が増加している。視覚障がい者に対するサポートのごく一部に過ぎないが、行政としてできることのひとつと考える。音声認識コード導入に対する見解を伺う。</p> <p>(1)出雲養護学校雲南分教室への進路選択について</p> <p>①小中学校の特別支援学級在籍者数を伺う。(令和5年度現在での学年別総数)</p> <p>②中学校の特別支援学級在籍生徒の中で出雲養護学校雲南分教室を進学先として選択肢の一つとしている人数について伺う。</p> <p>③出雲養護学校雲南分教室に隣接した基町住宅の跡地がある。以前出雲養護学校のPTA副会長していた時に基町住宅跡地について出雲養護学校雲南分教室の見解を聞いたことがある。コロナウイルスが世を騒がせる前年のことであり、現在と社会状況に大きな変化がある。当時の見解と現在の見解に違いがあっても不思議ではないが、現時点での出雲養護学校雲南分教室の基町住宅跡地活用に対する</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 認知症保証制度について</p> <p>4. 本庁舎にシルバーカー(押し車)</p>	<p>見解は確認しているのか。その結果について伺う。</p> <p>先日、同期の議員メンバーで総社市へ認知症サポートについて研修に行ってきた。</p> <p>市長は、3月定例会所信表明の中で、高齢者等見守り SOS ネットワークについて、認知症等により、外出先で行き先や帰り道が分からなくなるなどの事案が毎年数件発生している。</p> <p>この対策として、高齢者等見守り SOS ネットワーク事業を拡充し、登録された情報が入った QR コード付きのシールを身につけてもらい、速やかに家族等と連絡が取れる対策を講じる。認知症患者を地域で支える活動を推進すると述べた。</p> <p>その1年前、17番議員から「認知症高齢者等損害保険制度」についての質問があったが、公平性、費用対効果などの観点から、現時点では本市での導入は考えていないとの答弁だった。</p> <p>(1)本市の認知症徘徊 SOS ネットワークのシステムについて伺う。</p> <p>(2)今回総社市で研修した内容は、本市の SOS ネットワークの中に認知症高齢者等損害保険制度が組み込まれたパッケージ的な取り組みであった。認知症が起因となる徘徊で道路へ飛び出し事故が発生した時には、少なからず弁済を求められることも考えられる。</p> <p>研修した内容では少ない掛け金で、最大保証3億円という事であった。家族が認知症で徘徊を伴うようになった時の負担は生活環境も大きく変化し負担も大きい。ここは是が非でも導入すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>最近、高齢の来庁者がベビーカーを手押し車代わりに使用する場面によく遭遇する。高齢者に対してのシルバーカー(押し車)を用意</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			の設置	することが必要と考えるが見解を伺う。	